

○成長的マインドセットを高める

- | | |
|----------------|----------------|
| 【挑 戦】の機会が訪れたとき | ⇒喜んで受け入れる |
| 【障 害】にぶつかったとき | ⇒乗り越えるまでやる |
| 【努 力】が必要になったとき | ⇒努力をすれば必ず成長できる |
| 【批 判】にさらされたとき | ⇒学びのよい機会と受け入れる |
| 【失 敗】をしてしまったとき | ⇒次の挑戦につなげる |

自尊感情

やればできると自分を信じられる子

向上心をもち、挑戦意欲のある子
くじけず、あきらめない子
ねばり強く努力を続ける子
素直に聞き入れる子
失敗から学ぶ子

知識・技能

教科学力

主体的に学習に取り組む態度

経験を積むことで身に付く行動特性

知的好奇心を刺激する授業や活動

結果ではなく、取組や過程に価値をおいた授業や活動
向上、習得、上達といった成長を実感できる授業や活動

次に期待が膨らむ授業や活動

子どもたち一人一人にとって学ぶ価値のある授業や活動

子ども同士の活発な対話のある授業や活動

学びの喜びや価値が異なる場面に転移する授業や活動

協力・協働が生まれる授業や活動

失敗が生きる授業や活動

学習とは

適切な目標を設定し、目標に対する妥当な計画を立案し、目標と現状の関係性の理解と問題点及び課題を把握し、時に必要な修正を加えながら解決を図ること。

思考力・判断力・表現力

知識を活用した課題解決力

見方・考え方

省察力・適応力

共 生 ・ 協 働 ・ 共 創

組織的取組

ルールの確立と周知徹底

親和的關係性の構築

支持的風土の醸成

普遍的な力

児童＝学習の主体者 教師＝児童を成長へと導く学習の援助者

児童相互・教師と児童の合意形成 個々の学びの保障

梅田スタイル

挑戦する意義・価値の理解 継続の重要性の理解

地域・保護者への啓発

授業改善推進プランの構想（改善ポイント）

《本校の実態》

【学びの課題】

- ・知識を相互に関連付けてより深く理解する。
- ・情報を精査して考えを形成する。
- ・問題を見いだして解決策を考える。
- ・思いや考えを基に創造したりする。
- ・表現(伝える・発信)する。

【地域・保護者の願い】

- ・学力を定着・向上させてほしい
- ・規律遵守、マナーの向上
- ・予測困難な時代を生きる力を育ててほしい
- ・未来を創造する大人になってほしい

《授業改善のポイント①》～～一人一人の主体的な学びをめざして～～

- ・単元や1時間の授業の導入において学びの自己決定ができる工夫や設定
 - ・「何を」学ぶのかを理解、把握するための個別支援
 - ・「いかに」学ぶのかについて、セルフモニタリング力と自己調整力を育む学習
 - ・むやみな反復学習に陥ることなく、進んで基礎的基本的な内容の確実な習得を目指す学習へのモチベーションを高める工夫
 - ・知的好奇心や探求心に加え、価値や必要性の理解を促す教師の働きかけ
 - ・学びの広がりや深まりを生み出す協働的・共同的な学びの設定
- ⇒他者による評価や価値付け、自己省察・自己評価による成長的マインドセットのループ化

《授業改善のポイント②》～～学びのサイクルを重視する～～

- ①問題の発見【課題をつかむ】……………困難さ、疑問、おどろきなど、学習における問題に気づき、認識するための活動重視。
- ②学習課題の設定【学びの道筋を決める】…子どもと教師の合意形成。学習の主体者は子ども。
- ③課題解決の仮説設定【考えをもつ】……………自分の考えをもつ、見通し、根拠に基づく予想、検証方法の自己決定
- ④検証【表現・再考・解決】……………明確な目的 意図的、計画的実行
- ⑤省察【振り返る・次の学びに生かす】………結果、検証方法の省察。結論付け(学びの過程、学んだこと、得たこと、成長したこと、変化したこと)

プランの実効性を高めるための方策

- ・授業改善プランチェックシートによる月ごとの自己評価と管理職による指導・助言
- ・日常的な教員同士の授業観察、研鑽(自身の目標値を定め、計画的・継続的な参観 学年、ブロック、全校及び通常学級と特別支援教室で見合う)
- ・校内研究会、OJT 研修会による授業力向上